

「なんか、ちょっとおかしかったけど、すぐ治った」 …これって大丈夫？

社会医療法人全仁会 倉敷平成病院 副院長・救急部長(脳神経外科)
篠山 英道



実は大丈夫じゃないんです。重大な病気の前ぶれかも知れません。

一過性脳虚血発作といって、神経症状が急に起こって平均14分で消失します。2分以内に治る事もありますし、50%は30分以内に消失します。アメリカ脳卒中中協会およびアメリカ心臓協会は、「急性脳梗塞をとまなわれない、局所的な脳、脊髄、または網膜の虚血によって生じる神経機能障害の一過性エピソード」(Estonら、2009)と定義しています。

一時的で、すぐ治ってしまうのですが、これが要注意。実は重大な脳梗塞の前ぶれだったりします。救急疾患としての一過性脳虚血発作と脳梗塞とは同一線上にあります。

心疾患でもハート・アタックという考えで、不安定狭心症と急性心筋梗塞とを、急性冠症候群と総称して救急診療を整備した事によって、救命率が向上しました。

急性期の一過性脳虚血発作と虚血性脳卒中とを包括する急性脳血管症候群、ブレイン・アタックという考えでの救急診療が勧告されています。

つまり、一過性脳虚血発作は、取り返しのつかない脳梗塞の前ぶれと考えられるのです。一過性脳虚血発作を起こした人の10〜15%が3か月以内に脳梗塞を発症しています。そのうち約半数は、最初の2日以内に脳梗塞になっています。6人に1人ぐらいが将来脳梗塞になるという計算ですが、この確率をどう思いますか？

夏休みにみんなでスゴロクを楽しんでいて、サイコロであと1が出れば上がりという場面、なかなか1が出ない事が有ります。6が出たりして、むしろ後ろに下がったりして。でも、1以外なら大丈夫、1以外なら飛び越えられる、1が出たら振り出しに戻るといいう場面、割とよく1が出て、ドボン、逆転負けといった事、みなさん今まで

に有りませんでしたか？

特に危険なのが、60歳以上の中高年の人、高血圧の人(140/90以上)、言語障害の出た人、症状が1時間以上続いた人、糖尿病のある人、心房細動という不整脈のある人、一過性脳虚血発作を起こすのが2回目以上の人などです。脳梗塞という重大な病気ですが、前ぶれが有るのは、考えようによっては、むしろラッキーな事かも知れません。

脱水ぎみになると血液がドロドロ血になって、一過性脳虚血発作の発生率が上がります。今の時期よく汗をかきますよね。ポイントは、のどが渴く前に、こまめに水分補給をする事です。

それでは、どんな症状が出た時に、救急を受診したらいいのでしょうか。

一番多いのが、片方の手足の筋力低下やしびれです。右の手と右の足に力が入らないといったものです。そのほか顔の片方の麻痺やしびれ、言語障害(話しにくい、言葉が出ない、ろれつ

が回らない)、視覚障害(片方の目が見えない、視野の半分が欠ける、物が二重に見える)、歩行または立位障害(まっすぐ歩けない)、じっと立っている事ができない)、嘔下^{えんげ}障害、めまい、ちよつと気が遠くなる等です。人によって症状は様々です。それでも特徴的なのは、突発するという事です。

こんな事があなたの身に起こったら、脳梗塞の前ぶれかも知れません。サイコロの1が出ない内に、急いで救急受診しましょう。

